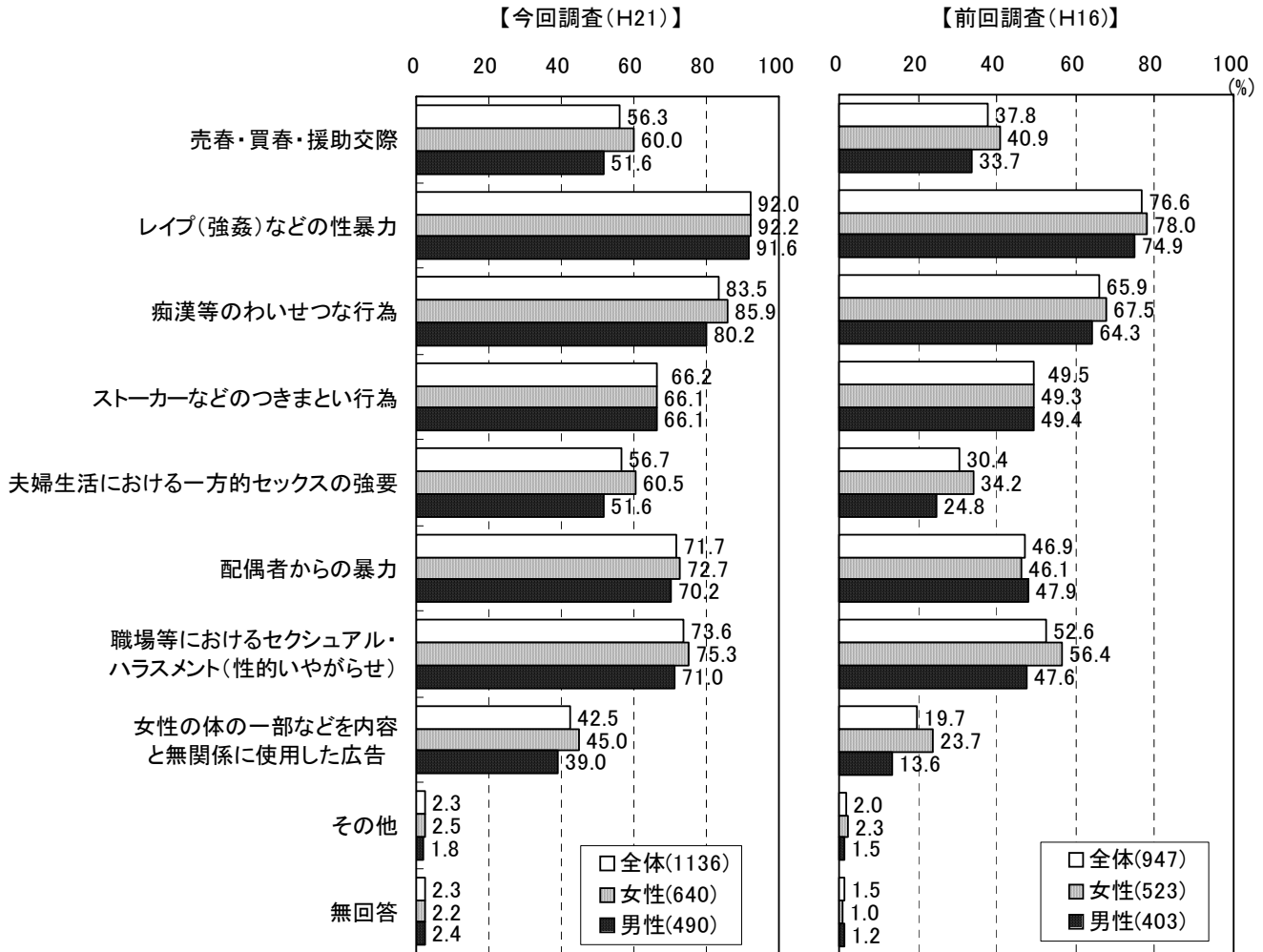


5. 人権

女性の人権が侵害されていると感じること

問7 次のうち、あなたが女性の人権が侵害されていると感じるのは、どのようなことについてでしょうか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。



女性の人権が侵害されていると感じるのはどのようなことかを聞いたところ、男女とも『レイプ(強姦)などの性暴力』(女性92.2%、男性91.6%)と回答している割合が最も高く、次いで『痴漢等のわいせつな行為』(女性85.9%、男性80.2%)、『職場等におけるセクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)』(女性75.3%、男性71.0%)『配偶者からの暴力』(女性72.7%、男性70.2%)となっている。

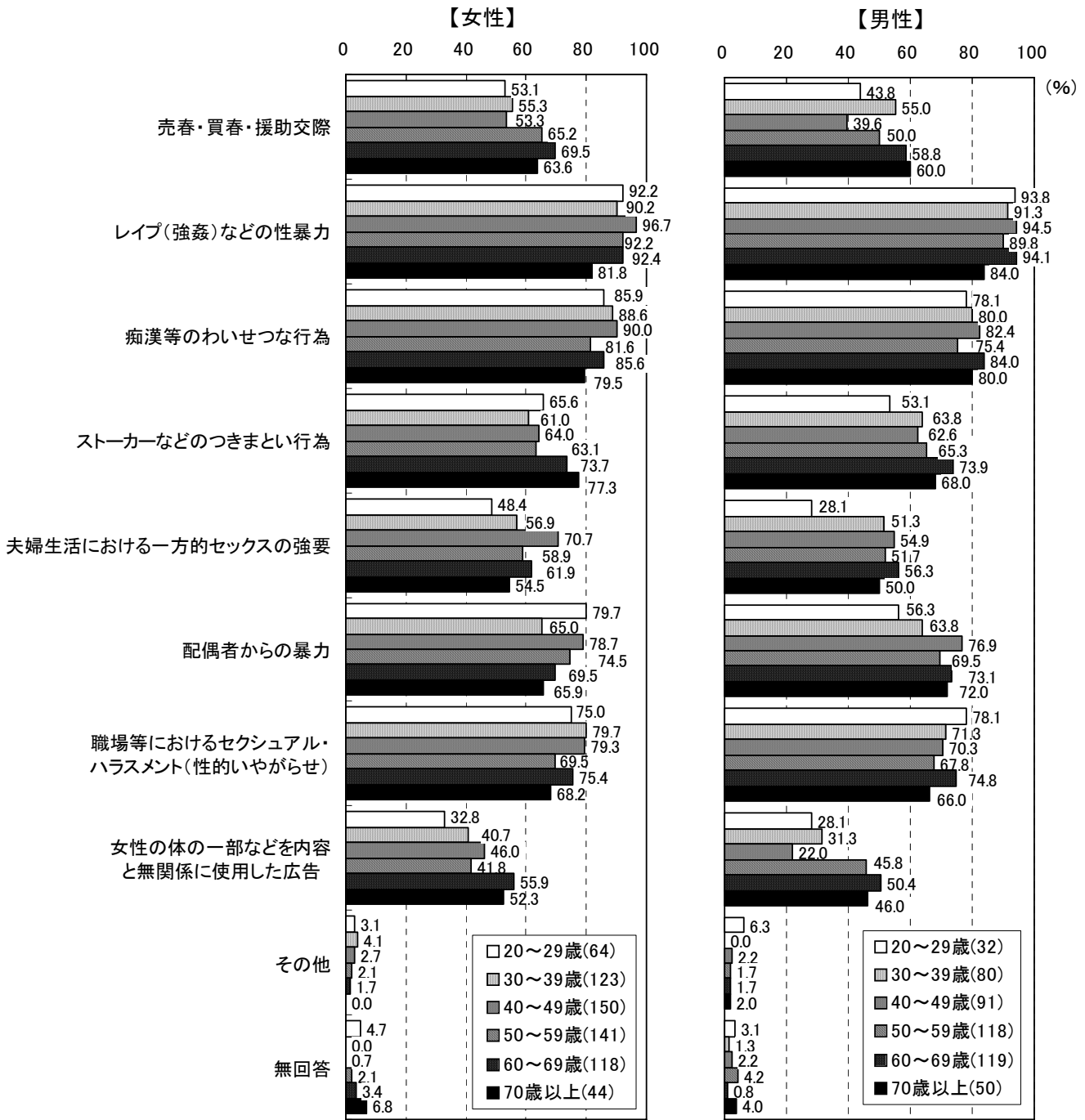
男女差がみられるものとして、『夫婦生活における一方的セックスの強要』(女性60.5%、男性51.6%)は8.9ポイント、『売春、買春、援助交際』(女性60.0%、男性51.6%)は8.4ポイントそれぞれ女性の回答の割合が高くなっている。

【前回調査(平成16年)との比較】

平成16年に実施した調査と比較すると、どの項目でも割合が増えている。

特に大きな変化がみられるのは「配偶者からの暴力」(女性72.7%、男性70.2%)で、全体で24.8ポイント、女性26.6ポイント、男性で22.3ポイント増えている。

【年代別】



年代別・性別にみると、『夫婦生活における一方的セックスの強要』においては、男女とも 20 代が最も低く (女性 48.4%、男性 28.1%)、また、男女の差も 20.3 ポイントと大きい。

また、『配偶者からの暴力』は、20 代女性は 79.7%と各年代の中で最も高いが、20 代男性では 56.3%と最も低く、男女の差も 23.4 ポイントの開きがあり、認識の差が伺える。